

(抜粋)



光り輝く 未来のために

～よりよい教育環境を目指して～

## 君津市学校再編

### 第1次実施プログラム

平成29年1月  
君津市教育委員会



## 目 次

第1次実施プログラムについて・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

I 統合について・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

1 統合の趣旨・・・・・・・・ 2

2 小糸・清和地区・・・・・・・・ 3

3 小櫃・上総地区・・・・・・・・ 4

II 幼児教育・保育について・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

1 新たな幼児教育・保育について・・ 5

III 特色ある学校づくりについて・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

1 小中一貫教育・・・・・・・・ 6

2 コミュニティ・スクール・・・・・・・・ 7

IV 通学区域の見直しについて・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

V 適正規模・適正配置を目指して・・・・・・・・・・・・ 9

<関連データ>

## 第 1 次実施プログラムについて

君津市教育委員会では、少子化による児童生徒数の減少や学校の小規模化が進行する中、子どもたちにとってよりよい教育環境の整備を進めるため、平成 26 年 1 月から、庁内組織である学校教育環境整備検討委員会等で調査・研究を行うとともに、平成 27 年 8 月からは、学識経験者等の外部委員による学校再編有識者会議を設置し、時代にあった学校再編のあり方について意見をいただき、学校再編基本方針及び学校再編基本計画について検討してきました。

この間、各中学校区における「地区説明会」、「小・中学校の適正規模に関するアンケート調査」や中学校合同生徒会、パブリックコメントなど様々な機会を通して、学校再編に対して、保護者や生徒、地域、学校関係者などから貴重なご意見をいただけてきました。

このように、幅広く市民の方々や関係各方面からの意見等を踏まえながら検討を重ね、平成 28 年 3 月に『学校再編基本計画』を策定しました。

この基本計画では、平成 28 年度を初年度として、10 年後の平成 37 年度を目標年次とし、実施に当たっては、具体的な再編メニューの対象校や実施時期等を示した実施プログラムに基づき、推進することとしています。これまでの市民の皆様からの意見や、各学校の課題、地域の実情等を踏まえた上で検討を重ね、『第 1 次実施プログラム』としてとりまとめました。

このプログラムは、「統合について」、「幼児教育・保育について」、「特色ある学校づくりについて」、「通学区域の見直しについて」、「適正規模・適正配置を目指して」の 5 つの柱で構成され、平成 28 年度からの具体的な取り組みを示しています。

なお、今後も引き続き基本計画に基づき、学校再編の検討を進めていきます。順次実施プログラムを作成し、その都度、地区説明会やパブリックコメント等を実施し、幅広く意見をいただきながら、基本計画の具現化に向けて取り組んでいきます。

## Ⅱ 幼児教育・保育について

### 《新たな幼児教育・保育について》

対 象	実施年度	取り組みの概要
周西幼稚園	H32年度	人見保育園に、周西幼稚園の幼児教育を取り入れ、認定こども園へ移行します。

### 《経緯》

周西幼稚園は昭和41年に開園し、ピーク時の昭和60年には212名が在園していました。その後も200名前後の園児がいましたが、時代の流れとともに園児数が減少し、平成27年には67名となりました。

社会情勢の変化に伴う保護者ニーズの多様化、安全な環境の提供、望ましい教育的効果のために一定規模の集団を確保することや私立幼稚園との共存など、様々な課題に直面する中、平成29年度の新入園児募集を停止し、学校再編の枠組みの中で、具体的な方策を検討することとしました。

保護者ニーズ、公の役割、保育園の待機児童の問題なども踏まえ、これからの幼児教育・保育のあり方について検討を重ねた結果、人見保育園に、周西幼稚園で培われたスキルやノウハウを継承し、幼児教育と保育の融合を図り、よりよい幼児教育・保育の実現を目指すこととしました。

なお、現在の人見保育園を認定こども園へ移行する先行的な取り組みであり、幼稚園枠の定員については、若干名とします。

今後、先進事例の収集・分析を経て運用手法を定め、君津市の新たな幼児教育・保育施設「君津市版認定こども園」の移行に向け準備を進めます。

また、移行期間においては『準備室』を設置し、幼児教育を求める保護者に対する支援を行います。

### 《目指す姿》

- 周西幼稚園で培ったスキルやノウハウを継承し、時代に合った幼児教育と保育の発展的融合を図ります。
- 様々な就学前児童が、幼児教育・保育を受ける均等な機会を確保するための一助とします。